

平成25年度 事業報告書

第1 事業内容

平成25年度中の相談・支援件数は675件で、前年度対比89件15%の増加であった。犯罪の形態別では、殺人・傷害致死が106件、全体の約16%、強姦・強制わいせつなどの性犯罪被害が140件、全体の約21%を、暴行・傷害が266件、全体の約39%を占めた。その内訳は、次表のとおりである。

殺人・傷害致死	強盗致死傷	性犯罪被害	暴行・傷害	交通被害	財産的被害
106	0	140	266	31	14
DV	ストーカー	虐待	その他	合計	
3	13	0	102	675	

1 犯罪被害者等に対する電話・面接相談事業

犯罪被害者等の精神的被害の回復と軽減を図るため、支援活動員による電話・面接相談を行った。平成25年度中の相談件数は、電話・メール相談254件、面接相談3件、合計257件、前年度対比87件51%の増加であった。その内訳は、次表のとおりである。

電話相談	メール相談	面接相談	合計
242	12	3	257

面接相談は、性犯罪被害者のカウンセリングや加害者に対する損害賠償請求に関するもので、臨床心理士や弁護士等の専門家の助言・指導を受けて行った。

2 役務の提供等による被害者等の直接的支援事業

被害者や遺族らの要請を受けて、相談員や支援活動員が警察署・検察庁・裁判所への付添いなどの直接的支援を行った。前年度12件であった。その内訳は、次表のとおりである。

裁判関連支援	検察関連支援	警察関連支援	行政窓口付添い
105	52	7	8
病院付添い	自宅訪問・生活支援	その他	合計
30	13	203	418

- (1) 平成20年12月、刑事裁判手続きにおける「被害者参加制度」「損害賠償命令制度」が施行され、公判廷において、被害者や遺族が被告人質問・意見陳述する機会が多くなった。これらの司法制度改革に伴って、被害者支援の内容、在り方も大きく様変わりし、また、犯罪被害者の権利擁護の必要性が改めて示されることとなった。
- (2) 平成25年度中は、暴行傷害に対する相談電話、検察・裁判関連支援や被害者の病院付添いなど

が著しく増加した。少年事件での少年審判に関連する被害者支援、心神喪失者等医療観察法の審判での被害者支援等、新たな領域の支援を実施した。

(3) 犯罪被害者等給付金裁定申請補助の支援が昨年より19件増加となった。

犯罪被害者等に、国が支給する給付金についての情報を提供し、申請手続き等について記載要領等説明し、病院付添して申請補助を行った。被害直後に経済的負担を強いられた被害者に対して全国被害者支援ネットワーク緊急支援金の申請手続きを行った。

3 犯罪被害者等の自助グループへの支援事業

交通事故等の遺族らによる自助グループ「ふれあい」の活動を継続して実施した。同じ悩みや障害を持つ人たちの相互援助活動の維持・運営に側面的な支援を行う活動で、毎月第3木曜日の午後、月例会をシンクタンク庁舎内で開催した。毎回3～7名の参加者があり、支援活動員がその支援に当たった。

4 関係機関・団体等との連携事業

県警察の被害者支援室、県環境生活政策課、人権教育啓発推進協議会、犯罪被害者支援活動推進協議会、市町村との連携を図り、被害者支援に必要な情報交換を行った。

県男女共同参画交流会
6月27日(木) 平成26年2月28日(火) ふれあい福寿会館 相談員出席
岐阜市人権教育・啓発推進協議会
7月8日(月) 平成26年1月27日(月) 岐阜市役所 会議室
県犯罪被害者支援活動推進協議会総会
8月19日(月) 県警察本部 事務局長出席
ゆいネット岐阜・名古屋合同講演会 「大阪のSACHI COから伝えたいこと」
10月13日(日) じゅうろくプラザ大会議室 主任相談員パネリスト 支援員13名出席
被害者支援専科
11月14日(木) 警察学校 主任相談員講師
安全・安心まちづくり地域連携会議
11月19日(火) 飛騨総合庁舎 26日(火) 岐阜県庁大会議室 阪本相談員講師
県犯罪被害者支援活動推進協議会専門部会 (シミュレーション訓練の開催)
12月10日(火) 県警察本部 主任相談員・支援活動員2名参加
保護司会自主研修会 (関・美濃保護地区)
12月13日(金) みの観光ホテル 主任相談員講師
市町村犯罪被害者等施策担当者会議
2月17日(月) 県庁会議室 主任相談員講師

5 犯罪被害者等の実態に関する調査・研究事業

全国犯罪被害者支援ネットワーク主催のフォーラム・研修会、他府県開催の講演会等に支援員ら積極的に参加し、被害者支援活動に関する意見交換、知識の習得を図った

交通事故被害者の会（美濃加茂）
4月6日（土）巻子の言霊上映会・シンポジウム 事務局長 相談員5名 遺族1名
東海北陸ブロック研修会 質の向上研修上期・下期（富山）
第1回 7月20日（土）～21日（日） 支援活動員3名参加 講師1名
第2回 1月18日（土）～19日（日） 支援活動員3名参加
犯罪被害者支援弁護士フォーラム（東京）
8月24日（土） 支援活動員1名参加
少年犯罪被害者当事者の会 「第15回 W i L L」 （大阪）
10月12日（土） 支援活動員1名参加
全国犯罪被害者支援フォーラム・秋期全国研修会（東京）
10月18日（金）～19日（土） 20日（日） 支援活動員3名参加
自助グループ継続研修（東京）
11月18日（月）～19日（火） 都立産業貿易センター浜松町館 支援活動員2名参加
いのちかなでる『緒あしす』（名古屋）
12月8日（日） 名古屋大学野依記念学術交流館 事務局長・支援活動員8名参加
直接的支援実地研修（東京）
① 9月9（月）～13（金） 都民センター 支援活動員1名参加
② 12月9（月）～13（金） 都民センター 支援活動員1名参加
被害者支援を考える・学ぶ講座（東京）ネットワーク主催
12月20日（金） 東京大学法科大学院 被害者遺族 松井理事講師
第13回全国犯罪者の会（東京） あすの会 東京ドイツ文化会館
1月25日（土） 死刑制度について 諸澤英道氏講演会 事務局長出席
春期全国研修会（コーディネーター研修後期） 東京都
1月29日（水）～31日（金） 機械振興会館 相談員2名

6 犯罪被害者支援に従事する者の養成及び研修事業

(1) 新規支援活動員の募集、養成講座

平成 22年以來3年ぶりに、ボランティア支援活動員を新規募集し、16名の応募者があり8名が養成講座を修了した。県内、飛騨・東濃地域からの受講者があり、被害者支援に対する関心の高さを示した。

被害者支援の現状、支援センターの歩み、被害者支援基本計画、被害者支援に関する刑事手続きの流れ、被害者の人権に関わる司法制度、警察・検察庁・裁判所・法テラスの被害者支援、メンタルヘルスケア、殺人事件被害者遺族講話、電話相談の基礎・リスニング技法など、3カ月間・30

時間の講座で、内閣府が示したモデルカリキュラムで構成した。

養成講座修了者は、約4か月間の電話相談の見習い研修を終え、平成26年4月1日付けで「支援活動員」に認定した。

実施月日	内 容	講 師
8月 1日(木)	開講式・オリエンテーション 被害者支援に関わる法律と基本計画 被害者支援の現状と支援センターの歩み	副理事長 森川士朗 県警被害者支援室 課長補佐 岸 事務局長 吉田千秋
8月 8日(木)	犯罪被害者の実情と支援活動 警察の被害者支援刑事手続きの流れ	主任相談員 塚本真美子 県警被害者支援室 課長補佐 岸
8月 22日(木)	被害者支援の窓口と任務 電話相談の基礎① リスニング技法	県環境政策生活課 谷口補佐 臨床心理士 今井敦子
8月29日(木)	検察庁の被害者支援・支援制度を知る 被害者遺族の声を聴く	岐阜検察庁 長瀬広報官 被害者ご遺族 松井克幸
9月 5日(木)	被害者遺族の心理 被害者の人権、支援に関わる司法制度	臨床心理士 森川士朗 弁護士 鈴木雅雄
9月12日(木)	被害者への支援・直接的支援 事例紹介 法テラスの被害者支援制度	林・神谷・井上支援活動員 法テラス岐阜 織田事務局長
9月19日(木)	被害者のメンタルケア 被害者支援制度を知る、司法の役割	精神科医 杉田憲夫 岐阜地裁 佐々木訟務管理官
9月26日(木)	女性相談の現場から、DV被害の現状 被害者への支援 II 電話相談ロールプレ	女性相談センター杉岡所長 臨床心理士 今井敦子
10月 3日(木)	交通事故被害者の訴え 「巻子の言霊」松尾幸郎氏	木内みどり氏講演 事務局長 吉田千秋
10月10日(水)	意見交換会、閉校式 個別面談	センター事務局

(2) 電話相談、直接的支援に携わる支援活動員研修

電話相談、直接的支援に携わる支援活動員32名を対象として、支援に必要な知識、技能の向上を図るため、精神科医・弁護士・臨床心理士等の講師によるスキルアップ研修を、毎月、継続して行った。

直接的支援の事例検討のほか、殺人事件被害者遺族や臨床心理士、検察庁検事、法テラス担当者を講師として、遺族の心情、面接相談技法、被害者支援の法制度等について研修させた。

実施月日	研修・講義内容	講師
4月 9日(火)	オリエンテーション 開講式・認定書の交付 DVD 巻子の言霊	事務局長 吉田 千秋
5月 14日(火)	支援技術Ⅰ 面接時の対応等ロールプレイ (初回面接での対応)	事務局長 吉田千秋 主任相談員 塚本真美子
6月11日(火)	支援技術Ⅱ (急性期での面接対応・ロールプレイ)	主任相談員 塚本真美子 犯罪被害相談員 林貴子
7月 9日(火)	事例検討会 (ケース支援の展開・事例検討)	事務局長 吉田千秋 主任相談員 塚本真美子
8月10日(土) 1日研修	被害者の声を聴く 各事例に伴うケーススタディ	遺族 松井克幸氏 事務局
9月10日(火)	被害者に対する経済的支援 (犯給制度 被害者緊急支援金)	警察本部支援室 犯給担当 今津警部補
10月 8日(火)	性暴力被害の実態と支援について	警察本部支援室 林権未心理士
11月12日(火)	研修報告 (都民センター 全国フォーラム) 講演会の役割分担について	主任相談員 塚本真美子 林犯罪被害相談員
12月10日(火)	支援技術Ⅲ (ケース支援の展開) 研修報告 (自助継続研修) 第6期生自己紹介	事務局
1月14日(火)	支援技術Ⅳ 相談電話の対応・ロールプレイ	今井権未心理士
2月18日(火)	検察庁による被害者支援 (被害者保護と支援のための制度)	岐阜地方検察庁 広報官 絳活官
3月 8日(土) 1日研修	性犯罪被害者への対応について 事例検討会 (相談電話受理事等) 研修報告 (コーディネーター・ブロック研修)	警察本部捜査一課 犯罪捜査官 犯罪被害相談員 事務局

7 犯罪被害者支援に関する広報・啓発事業

- (1) 被害者の置かれた現状、被害者支援活動の必要性についての理解を深めるため、毎年、「犯罪被害者週間」の期間中に、被害者支援に関わる有識者やご遺族を招聘して講演会を開催している。平成25年度は、11月24日、グランヴェール岐山において、平成19年8月「闇サイト殺人事件」の被害者ご遺族、磯谷富美子氏を講師に招聘し、「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」と題して講演会を開催した。
- (2) 支援センターの活動状況をまとめた機関誌「こころの輪」を年2回(18・19号)作成し、正会員・賛助会員、関係機関へ配布した。支援活動・報告、被害者家族の手記などを掲載した。
- (3) ホームページのデータを更新し、犯罪被害の実情や遺族の手記、支援センターの活動内容、被害者保護のための法制度、相談窓口などを掲載した。ホームページのブログサイトにも、講演会・研修会の開催状況、街頭広報活動などを掲載して広報に努めた。

実施月日	内 容	参加人員
7月12日(金)	暴力追放岐阜県民大会(長良川国際会議場) パネル展示 リーフレット配布	10
10月1日(火)	赤い羽根共同募金広報活動 JR岐阜駅周辺	10
11月 4日(月) (振替休日)	警察音楽隊演奏会 広報活動 長良川国際会議場 リーフレット・講演会チラシ等配布	12
11月20日(水) 12月 2日(月)	懸垂幕取り付け(県警本部庁舎前広告塔) タペストリー貼付(関係機関)	
11月18日(月) 11月22日(金)	パネル展示 リーフレット配布 ぶれあい会館ロビー	15
11月24日(日)	被害者支援講演会 グランヴェール岐山 リーフレット配布	300
11月25日(月)	犯罪被害者週間 街頭広報 JR岐阜駅	10
2月19日(火) 2月21日(木)	「安全・安心まちづくり地域連携会議」講話 リーフレット配布(高山・岐阜 会場)	200
毎月11日	「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」 各務原イオン、リーフレット配布	

第2 会議の開催

1 年2回、理事会・総会を開催し、事業・決算報告、事業・収支予算計画等を審議した。

定時理事会 5月23日(木)13:00 ぶれあい福寿会館 408会議室
・平成24年度事業報告・収支決算報告に関する件 ・会員の入会申し込みに関する件
定時総会 6月20日(木)13:30 ぶれあい福寿会館 レセプションルーム
・平成24年度事業報告・収支決算報告に関する件
第2回 理事会 2月27日(木)13:30 ぶれあい福寿会館 408小会議室
・平成26年度事業計画・収支予算に関する件 ・会員の入会申し込みに関する件
第2回 総会 3月20日(木)13:30 県シンクタンク庁舎1-1 会議室
・平成26年度事業計画・収支予算に関する件

2 運営委員会

偶数月に運営委員会を開催し、事業運営等について協議した。

開催月日	協議事項
4月18日(木) 18:00	理事会・総会の事前協議等
8月 8日(木) 18:00	公益認定の定期報告、第6期生養成講座の実施
10月17日(木) 18:00	犯罪被害者週間の取組み、講演会の開催準備 財政基盤の整備(市町村負担金の助成要望) 公益法人立入検査結果
12月26日(木) 18:00	秋期研修・ブロック研修報告、設立10周年記念講演の開催
2月10日(木) 18:00	コーディネーター研修報告 機関誌発行(vol19) 平成26年度事業計画・予算(案)の事前協議